

令和6年度（2024年度）予算概要

単位：千円、%

会計	令和6年度 (2024年度) A	令和5年度 (2023年度) B	増減		
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B	
一般会計	68,750,000	65,870,000	2,880,000	4.4	
特別会計	財産区事業費	1,726,092	1,725,097	995	0.1
	国民健康保険事業費	14,277,610	14,263,033	14,577	0.1
	介護保険事業費	11,527,608	11,872,791	▲ 345,183	▲ 2.9
	後期高齢者医療事業費	3,342,652	2,767,526	575,126	20.8
	公共用地先行取得事業費	2,376,621	1,301,646	1,074,975	82.6
	介護サービス事業費	12,172	13,270	▲ 1,098	▲ 8.3
特別会計の計	33,262,755	31,943,363	1,319,392	4.1	
企業会計	病院事業会計	11,138,127	11,612,143	▲ 474,016	▲ 4.1
	水道事業会計	4,276,051	4,283,923	▲ 7,872	▲ 0.2
	公共下水道事業会計	3,424,744	3,572,432	▲ 147,688	▲ 4.1
	ボートレース事業会計	56,969,767	86,578,195	▲ 29,608,428	▲ 34.2
	企業会計の計	75,808,689	106,046,693	▲ 30,238,004	▲ 28.5
合計	177,821,444	203,860,056	▲ 26,038,612	▲ 12.8	

**** 当初予算の全体像 ****

【一般会計の予算額】 **687億50百万円** < + 28億80百万円、 + 4.4% >

令和7年度の開署に向けた消防拠点整備や、中部地域における障害者通所施設の整備、第二総合運動場に隣接する西ノ池跡地に整備する室内温水プールの設計などにより、約29億円増加しました。

【全会計の予算額】 **1,778億21百万円** < ▲ 260億39百万円、 ▲ 12.8% >

ボートレース事業会計において、SG競走（グランプリ）の非開催年にあたるため、予算規模が縮小したことなどにより、全会計の予算総額が約260億円減少しました。

◆ 一般会計の主な歳入の状況

・市税 **255億44百万円** < + 5億08百万円、 + 2.0% >

個人市民税において定額減税の影響を受けるものの、新築物件の増や地価の上昇などによる固定資産税の堅調な伸びなどにより、約5億円増加しました。

・市債 **76億05百万円** < + 28億99百万円、 + 61.5% >

消防拠点や中部地域の障害者通所施設整備、都市計画道路や新駅周辺の整備などの財源として市債を発行する予定です。

・ボートレース事業会計繰入金 **20億円** < ▲ 10億円、▲33.3% >

SG競走（グランプリ）の非開催年ではあるものの、好調な業績を背景に、20億円の繰入金を見込んでいます。北大阪急行線の延伸整備にかかる財源確保が完了したことから、新年度からは新市立病院の整備に関する事業に活用します。

◆ 一般会計の主な歳出の状況

・普通建設事業費（施設整備など） **138億28百万円** < ▲ 18億47百万円、 ▲11.8% >

令和7年度の開署に向けた消防拠点整備や、中部地域における障害者通所施設の整備、室内温水プールの設計などを実施する一方、北大阪急行延伸線の開業による整備費の減少などにより、約18億円減少しました。

・物件費（委託料など） **110億38百万円** < + 8億89百万円、 + 8.8% >

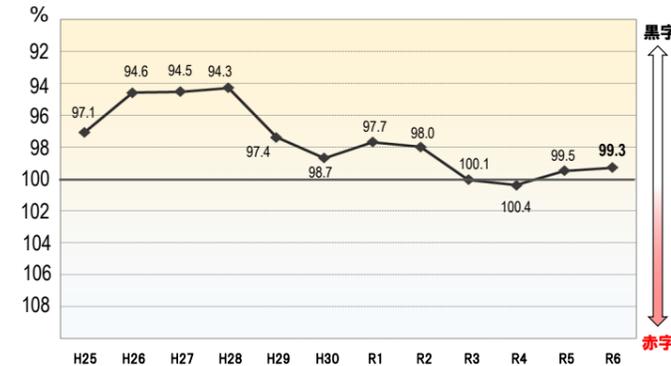
小学生3学年分のタブレット端末更新、包括的な支援体制を構築する重層的支援体制整備事業の本格稼働などを行います。

・人件費 **112億81百万円** < + 8億28百万円、 + 7.9% >

会計年度任用職員の勤勉手当支給や報酬改定などにより、約8億円増加しました。

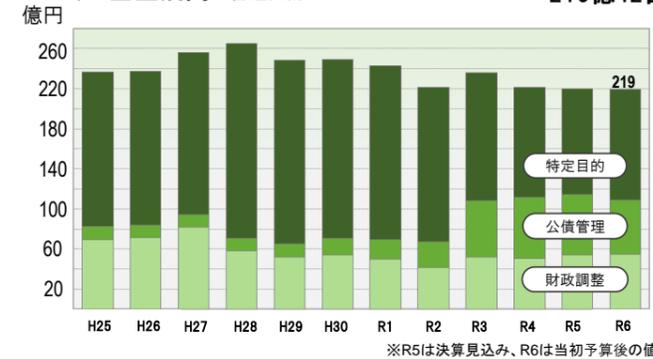
**** 収支バランスの状況 ****

◆ 経常収支比率（当初予算ベース） **99.3%** < ▲ 0.2ポイント >



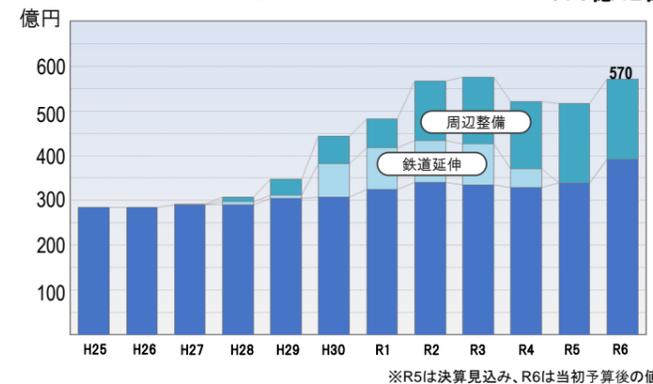
人件費や社会保障関係費は増加したものの、市税収入の増などにより、昨年度から0.2ポイント改善し、昨年度に引き続き2年連続で100%を下回ることができました。引き続き、未来への投資と財政規律の堅持を両立し、堅実な行財政運営を行っていきます。

◆ 基金残高（普通会計ベース） **219億42百万円** < ▲ 76百万円、 ▲ 0.3% >



新市立病院の整備に活用するため「新市立病院整備基金」や、みのおサンプラザ1号館の建替に備え「都市施設整備基金」に積み立てた一方で、北大阪急行線延伸や都市計画道路を含めた新駅周辺の整備費などに基金を活用することにより、基金残高は約1億円減少しました。

◆ 市債残高（普通会計ベース） **570億42百万円** < + 53億59百万円、 + 10.4% >



令和4、5年度に繰上償還を実施し、鉄道延伸にかかる市債は返済済み。新年度についても、これまでに確保できた財源を活用することで鉄道延伸にかかる市債の発行を”ゼロ”としています。

一方で、都市計画道路を含めた新駅周辺の整備、消防拠点整備や障害者通所施設整備などにかかる市債を発行するため、市債残高は約54億円増加しました。